

## 平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数  
第3学年 化学基礎 選択：2単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい  
身近な事象に関する観察、実験などを通して、科学と人間生活とのかかわりを理解させ、人間生活の科学的な見方や考え方を養う。
- 4 年間授業計画

学期	単元 (授業内容/時間)	重点項目	評価の観点
1	第1章 物質の構成 1節 物質の探求 2節 物質の構成粒子  第2章 物質と化学結合 1節 物質と化学結合  (30時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の分離、精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解する。</li> <li>・実験における基本操作と、物質を探求する方法を身に付ける。</li> <li>・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。</li> <li>・金属結合及び金属の性質を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高め、それらを積極的に探求しようとする。</li> <li>・身近な物質とその変化の中から問題を見出し、探求する過程を通して、化学的に正しく判断し、的確に表現できる。</li> </ul>
2	2節 物質の利用  第3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 2節 酸と塩基  (30時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。</li> <li>・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。</li> <li>・酸と塩基の性質を理解し、酸、塩基の強弱と電離度の大小についても理解する。</li> <li>・水素イオン濃度とpHの関係を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、見通しをもって主体的に観察、実験を行い、化学的に探求する技能を身に付けている。</li> <li>・化学に関する基本的な原理、法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>
3	3節 酸化還元反応  (10時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。</li> <li>・酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。</li> </ul>	

- 5 使用教科書・副教材他  
化学基礎 務台潔 (ほか3名) 著 (実教出版)

- 6 評価方法・観点

成績算出に当たっては定期考査の素点を重視するが、平常点も加える。平常点は授業態度、意欲、発言・発表、授業ノート、小テスト、実験プリント、その他提出物、出席状況などを総合的に考慮して算出する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。